



学校だより 深町小学校  
平成29年度 学力特集号  
平成29年 12月9日  
文責 校長 河谷正弘

学校教育目標  
「豊かな人間性をそなえ、主体的で  
確かな実践力をもつ 児童の育成」

3つの花を、大きくさかせましょう。



## 平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成29年4月18日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

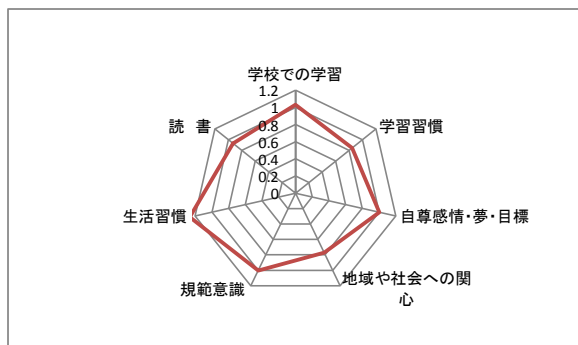
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。本校では調査結果も重視し、今後も効果的な指導や学力向上につながる教育活動が実践できるように努めてまいります。ご家庭でも家庭学習チャレンジハンドブックなどを参考にされ、お子様の学習をご支援いただけましたら幸いです。

### 1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語A	話すこと・聞くこと・書くことに関しての、基礎的な力がついてきている。ことわざの適切な使い方や、漢字の読み方に関する問題は、正答率が高かった。	下回っている
国語B	読むことに関しては力をつけてきている。読み手に分かりやすく伝える工夫について、普段から意識して文章を書く習慣をつける必要がある。	同程度である
算数A	無答率は低く、ねばり強く問題に取り組めるようになってきている。基本的な計算は、誤答が少なかった。整数の乗法の計算をする問題は正答率が高かった。	下回っている
算数B	数量関係についての問題に課題がある。記述式の問題で無答率が高く、根拠を明らかにして説明する問題に抵抗を感じている児童が多いことが分かった。	下回っている

### 2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



#### 質問紙調査の結果分析

学校での学習に関しては、めあてを明確に示し、まとめ・振り返りまでいねいに授業を展開するとともに、自分の考えをもたせることや表現させること、ノート指導を重視してきたので、書いたり話したりすることに抵抗が少なくなってきた。話し合う活動や自分たちで課題を立てて学習する経験を多く積んでいる。自分の考えを的確に文章に書いたり説明したりすることや、ねばり強く問題に取り組む姿勢については、児童によって差が見られる。家庭では、学校の学習以外に全く勉強しない児童がいることや、休日の家庭学習時間が少ないことから、家庭での学習習慣の定着を図っていくことが必要であると考え、地域の行事に参加している児童が少なく、地域に関心を持たせる必要がある。

### 3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

算数学習プリント・過去問題・アシストシート・WEB問題等も活用した朝自習や宿題、家庭学習の充実と確実な実施を図る。主題研究(算数科を中心に)で、「ノートに自分の考えを表現させる」「ノートを活用して話し合わせる」ことに重点を置き実践を行う。それを他教科にも広げ、実践していくようにする。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

書物や新聞等の活字に触れ、じっくり内容を読む機会を増やすことや、家庭での学習習慣の定着、特に学校が休みの日の家庭学習の工夫と確実な実施を、通信や懇談会を通して家庭に呼びかける等、学校と家庭が連携して取り組むようにする。給食、保健、発育測定等の時間に、「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さを繰り返し指導する。